



都内企業の景況感

—第120回企業動向調査結果 平成27年2月実施—



◎ 都内中小企業の景況は回復の動き。先行きも改善の見通し。

1. 都内中小企業の景況は、自社業況判断DI*が前回の5.0から今回7.1へと2.1ポイント上昇し、緩やかに回復している。先行きについて、同DI*は17.5へと上昇し、改善の見通し。	(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	(先行き)
	自社業況判断 DI*	5.0	⇒	7.1 (前回予想 11.9)	⇒	17.5
2. 売上高DI*は、前回の6.7から今回5.5へと1.2ポイント低下、経常利益DI*は、-3.3から3.4へ6.7ポイント上昇した。先行きについて売上高DI*、経常利益DI*ともに上昇する見通し。	売上高 DI*	6.7	⇒	5.5 (前回予想 17.3)	⇒	6.0
	経常利益 DI*	-3.3	⇒	3.4 (前回予想 8.1)	⇒	5.1
3. 価格DIを見ると、販売価格DIは、今回10.0と0.3ポイント上昇、仕入れ価格DIは32.1と6.8ポイント低下した。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIともに上昇する見通し。	販売価格 DI	9.7	⇒	10.0	⇒	13.1
	仕入れ価格 DI	38.9	⇒	32.1	⇒	37.0
4. 資金需要DIをみると、設備資金需要DI*は、前回の1.6から今回5.8へと4.2ポイント上昇し、運転資金需要DI*は前回の10.8から今回5.7へと5.1ポイント低下した。先行きは、両DI*ともに上昇する見通し。	製造業製品在庫 DI*	-9.2	⇒	-8.9	⇒	...
	設備資金需要 DI*	1.6	⇒	5.8	⇒	13.3
5. 金融機関借入難易感DIは、今回28.5と3.4ポイント上昇、資金繰りDIは、今回8.9と4.6ポイント上昇した。	運転資金需要 DI*	10.8	⇒	5.7	⇒	9.3
	金融機関借入難易感 DI	25.1	⇒	28.5	⇒	...
6. 経営上の問題点では、「同業他社との競合」がシェア15.2%で、前回同様第1位となった。第2位は、前回3位の「人材難」が14.6%、第3位は前回2位の「原材料高・仕入価格高」が12.8%だった。第4位は、前回同様「労働力不足・求人難」で11.3%、第5位は、「売上不振」で10.8%だった。第6位は、「人件費等経費の増加」5.9%、第7位は、「取引先からの値引き要請」5.6%、第8位は、「円相場変動」5.1%であった。	資金繰り DI	4.3	⇒	8.9	⇒	...
	(経営上の問題点)	(前回%)		(今回%)		
	同業他社との競合	16.2	⇒	15.2		
	人材難	12.8	⇒	14.6		
	原材料高・仕入価格高	14.9	⇒	12.8		
	労働力不足・求人難	12.1	⇒	11.3		
	売上不振	10.4	⇒	10.8		
	人件費等経費の増加	5.5	⇒	5.9		
	取引先からの値引き要請	4.8	⇒	5.6		
	円相場変動	4.4	⇒	5.1		

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は自社業況判断*、売上げ*、経常利益*、設備資金需要*の4指標の平均値(前回2.5、今回5.4、先行き10.5)で判断したものです。前回は「晴れ時々曇り」、今回は「晴れ時々曇り」、先行きは「晴れ」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標はマークなし。
 4. 「先行き」「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。